

## 第2学年 道徳科学習指導案

日 時 令和4年9月6日(火) 5校時

児 童 2年1組 26名

指導者 T1 村 上 ルミ子

T2 佐々木 亜沙子

1 主題名 なかなおりの「まほう」【B 9 友情, 信頼】

2 教材名 「竹馬と一りん車」(「新・みんなのどうとく 2」 学研)

3 主題設定の理由

### (1) 価値観

学習指導要領第1学年及び第2学年の内容の「B 主として人との関わりに関すること」の「9 友情, 信頼」は「友達と仲よくし, 助け合うこと。」とある。これは, 友達関係における基本とすべきことであり, 友達との間に信頼と切磋琢磨の精神をもつことに関する内容項目である。この内容項目は, 次のように発展していく。

|                            |  |   |  |
|----------------------------|--|---|--|
| 低学年<br>友達と仲よくし,<br>助け合うこと。 | 中学年<br>友達と互いに理<br>解し, 信頼し, 助<br>け合うこと。 | 高学年<br>友達と互いに信頼<br>し, 学び合って友情<br>を深め, 異性につい<br>ても理解しながら,<br>人間関係を築いてい<br>くこと。 | 中学校<br>友情の尊さを理解して心<br>から信頼できる友達をもち,<br>互いに励まし合い, 高め合う<br>とともに, 異性についての理<br>解を深め, 悩みや葛藤も経験<br>しながら人間関係を深めて<br>いくこと。 |
|----------------------------|--|---|--|

よりよい友達関係を築くためには, 互いを認め合い, 学習活動や生活の様々な場面を通して理解し合い, 協力し, 助け合い, 信頼感や友情を育んでいくことができるように指導することが求められている。そこで, 友達同士お互いを信頼し, 助け合っていくことの大切さに気付かせながら, お互いを尊重し合い, 支え合っていこうとする心情を高めたい。

### (2) 児童観

本学級の児童は, 結び付きの強い児童はいるものの, 誰とでも一緒に勉強したり遊んだりする様子が見られる。困っている児童がいれば心配したり, 助けようと相談し合ったりする姿も見られる。また, 自分の主張が通らずにけんかしてしまうことはあっても, 第三者に促されて謝罪し, 相手もその言葉を受け入れて許す場面がよく見られる。しかし, 自己中心性はまだ残っており, 友達の立場を理解して受け入れたり, 友達のよさを尊重しながら活動したりするまでには至っていない。

そこで本主題の学習を通して, 友達とけんかをしても, 相手の気持ちを考えて仲直りできるように, 友達と仲よく活動することのよさや楽しさ, 助け合うことの大切さに気付かせながら, 道徳的心情を育んでいきたい。弱視の児童がいることから, 登場人物をT1とT2が役割分担して

音声言語化し、場面の様子を正しくとらえ自分の考えをもって交流学习ができるようにしたい。

### (3) 教材観

本教材は、同じ小学校に通う2年生の草太と花子が、竹馬や一輪車に乗れるように練習していたときにけんかになったが、互いに相手の気持ちを考えて仲直りする話である。転んで二人の目が合ったときや、仲直りに至ったときの心情を想像することで、友達と仲よくし助け合うことの価値について考えることができる教材である。

## 4 本時の指導

### (1) ねらい

友達とけんかになったときでも、「相手がどんなことを思っているか」を考えることの大切さが分かり、仲直りしたり仲良く助け合ったりしていこうとする心情を育てる。

### (2) 本時の手立て


#### ① 少人数における話し合いの手立て

・二人の心情や行為について、友達の考えと比べながらとらえさせる。

#### ② 全体の話し合いの手立て

・ノートに書くことで自分の考えをもたせ、その上で交流することで、多様な考えに触れ考えを深めることができるようにする。

### (3) 展開

|           | 学 習 活 動<br>発問 (○)・主発問 (◎) 予想される児童の反応 (C)   | 指導上の留意点・評価  |
|-----------|--|---|
| つかむ<br>5分 | 1 価値への関心を高める。<br>・普段の生活場面を振り返り、教材への関心を高める。<br>○ 友達のしたことについてどう思いましたか。<br>C なんでそんなことをするのだろう。イライラする。<br>C ちゃんとやってほしい。 | ・朝の会や帰りの会の「みなさんから」で話される内容について想起させる。<br>・その時の気持ちを思い出させ、学習課題につなげる。<br><br>自分と結び付ける |

深める  
30分

2 教材文を基に話し合う。

(1) 教材文を読む。

(2) それぞれの場面の二人の気持ちについて考える。

なかよくすることについて考えよう。

- ふたりはなぜけんかしてしまったのでしょうか。
- 「へただなあ」と言われたから。
- 「まだのれないくせに」と言われたから。
  
- 黙ったまま歩いているとき、二人はどんな気持ちだったのでしょうか。
- もう一緒に遊びたくない。
- 一人で練習するから、いいよ。
- 仲直りしたいけど。
  
- 転んで目と目が合ったとき、二人はどんな気持ちだったのでしょうか。
- あっちも転んでいる。まだできないの。
- 一緒に練習したいな。

3 道徳的価値の内面的自覚を深める。

◎ なぜ途中から並んで歩いたのでしょう。二人が思っていることを書きましょう。記述

- 仲直りしたい。
- 一緒にできるようにになりたい。
- できるようになってほしい。

- 二人は、どんな気持ちで先生を呼んできたのでしょうか。
- 仲直りしてよかった。
- 二人ともできるようになってよかった。

- ・場面絵やT 1 と T 2 の役割演技を見て、二人の気持ちを想像させる。
- ・お互いに不満を感じていることをおさえる。
- ・二人の気持ちの動きが分かるように、場面ごとに二人の挿絵を動かす。

〈対話的な学び〉

ペアで二人の  
気持ちを話し合  
う。〈手立て1〉



協働して  
課題解決する

- ・ノートに自分の考えを書く。


〈対話的な学び〉

多様な考えに触  
れ、考えを深めさ  
せる。〈手立て2〉



共に考えを  
創り上げる

- ・グループで交流し、どんな意見が出たか数名に発表させる。
- ・相手の気持ちを想像することの良さに気付かせ、価値と結び付ける。

|                     |  |  |   |
|---------------------|--|--|---|
| <p>振り返る<br/>10分</p> | <p>4 今後の実践につなぐ。</p> <p>○ 友達と仲良くするために大切だと思ったことを書きましょう。<b>記述</b></p> <p>C 相手の気持ちを考える。</p> <p>C 友達が今どんな気持ちなのか考えてみる。</p> | <p>◇評価</p> <p>・相手の気持ちを考えて仲良くすることの大切さについて、書くことができたか。</p> <p>(記述・発表)</p> |  <p>振り返って<br/>次へつなげる</p> |
|---------------------|--|--|---|

(4) 板書計画

